

国連生物多様性の10年における民間の取組・成果集約と国際発信による次期国際枠組への貢献(2年目)

活動地域  日本全域

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

国際会議報告会等の参加者人数 **470人**

生物多様性ユースアンバサダー **30人**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **60%**



活動内容と成果

生物多様性条約関連会議への出席を通じて、国際動向を把握・発信すると同時に日本から発信すべき成果を検討し、10年間の成果として冊子を日英で取りまとめた。事業による情報発信は、ウェブ発信(120本以上のウェブ記事)、報告会(15回・680人参加、2年分の累積数)となる。政策から現場の経験まで、今後の活動につながる意見の共有を行った。次期目標の担い手であるユースの育成として、生物多様性ユースアンバサダー事業を進め、31人以上を指名。国際会議等へのユース参加機会を計17人に与えた。



課題

愛知目標の合意から9年が経過。2020年までの目標達成に向けてのさらなる取組み強化とともに、10年の成果の把握と次期目標への日本からの提言プロセスを作る必要がある。

目標

日本の民間を中心とした愛知ターゲット達成の取組みと成果をまとめ、国内外に発信することを主軸に、次期目標の担い手となるユースの参画や能力養成を図ることを目指す。

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

年度後半より、COVID-19の影響で会議等の延期や、報告会等の開催自粛などがあった。

■ 工夫した点

オンラインでの国際会議報告会を実施し、全国からの参加があり、運営ノウハウを蓄積。今後も積極的に活用したい。



今後の展望

国際情報収集と分析、発信能力について高い評価を得る会合を重ねることができた。情報共有から、議論の場を創出し、新たな行動を誘発するようなプラットフォーム機能として工夫を高めていきたい。

〒104-0033
東京都中央区新川1-16-10
ミトヨビル2F
電話：03-3553-4109
E-mail：iucnj@nacsj.or.jp
HP：http://bd20.jp/

